

講義名	経済分析のためのプログラミング		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	平越 裕之		
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 1時限		
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	41056

主題と概要

経済分析を行うに当たり必要となるコンピュータ利用技術の基礎を学習することを目的とし、代表的なプログラミング言語であるC言語を題材に、言語仕様、文法等基本的な事項や、アルゴリズムやプログラミングについての演習を行います。「経済分析のためのプログラミング」の発展版の位置づけです。

到達目標

コンピュータ利用技術を向上させ、コンピュータ言語の仕様や文法等基本的な事項から、アルゴリズムやプログラミングについての知識と実践が行える。本講義では基本的な事項や言語の全体像を理解でき、さらに実践できる。

提出課題

評価の基準

小試験と定期試験の得点を合わせて評価します。試験は講義、あるいは演習内容を十分理解しているかどうかを問う問題を出題します。
次に評価の詳細です。次のようにして各履修生の総得点を計算しそれに基づき評価します。
総得点 = (定期試験得点 / 100) × (100 - (各小試験満点の総計)) + (各小試験得点の総計)
・定期試験は100点満点です。
・定期試験を受けないと、「単位取得放棄」とみなしますので、それ以外で合格点に達していても単位取得は出来ません。
・各小試験の一回あたり満点は5点から10点の間です。
・全講義中に行なう小試験の実施回数は3回を最低保証回数とします。

履修にあたっての注意・助言他

<準備物>
・マークシート用鉛筆。(いつ小テストがあるかわからない)
・USBメモリ
各個人のデータを保存するのに、USBメモリ(またはフロッピーディスク)を用います。履修するものは遅くとも2回目の講義までに準備し、毎回携帯してください。
<注意・助言>
プログラミングを十分習得していることが必要です。
この科目は、演習を重視する形態をとりますので、自発的に授業時間外の空き時間を利用して、理解を深めてください。どんなに苦手な方でも、十分な演習時間をかければ必ず出来るようになります。とまでは言えませんが、日々の演習は重要な要素となります。講義中、迷惑をかける方は学生証提示の上退席してもらいます。演習中の不当な遅

教科書

.なし<プリント資料> テキストはプリントを配布します。 <参考文献> C言語の文献

プリント資料及び参考文献

<プリント資料>
テキストはプリントを配布します。
<参考文献>
C言語の文献はたくさん出版されています。書店で目を通して見て下さい。C++のものも多いので、気をつけて下さい。この授業で扱うのはC言語です。

授業計画

- 1 : whileとforの基礎
- 2 : ループ変数とfor、無限ループとbreak、continue
- 3 : 多重ループ1
- 4 : 多重ループ2
- 5 : まとめと演習
- 6 : 変数とアドレス
- 7 : ポインタ変数
- 8 : ポインタと配列
- 9 : ポインタまとめ
- 10- 関数
- 10: 宣言, 引数
- 11: アドレス渡し, 再帰
- 12: 再帰その2, まとめ
- 13 ライブラリ関数
- 14 構造体など
- 15 まとめ, 総合演習

予習・復習

プログラミング学習において、復習は非常に大切です。学習したことを何度も繰り返し自分で確認しながら、こうしたようになるのだろうか?という疑問をぶつけて実践し知識の定着を図るよう努めてください。

備考